

〔1〕本部事務局

1 法人運営の状況

(1) 理事会の開催

- ア 令和2年度 第1回理事会
開催日 令和2年4月10日
開催場所 大分県総合社会福祉会館
審議事項 ・評議員選任・解任委員会委員の選任について
・令和2年度年間主要事業計画(案)について
報告事項 ・第6期大分県社会福祉事業団中長期計画の概要について
- イ 令和2年度 第2回理事会
開催日 令和2年6月12日
開催場所 大分県総合社会福祉会館
審議事項 ・令和元年度事業報告及び決算報告について
・定款の変更について
・諸規則の改正について
・定時評議員会の日程及び附議する議案について
報告事項 ・監査報告について
・社会福祉充実残額について
・理事長専決事項について
- ウ 令和2年度 第3回理事会
開催日 令和2年8月27日
開催場所 大分県総合社会福祉会館
審議事項 ・施設長等の解任及び選任について
報告事項 ・前糸口厚生園職員によるご利用者預かり金(ジュース代)の窃取について
- エ 令和2年度 第4回理事会
開催日 令和2年10月23日
開催場所 アートホテル大分
審議事項 ・評議員選任・解任委員会委員の選任について
・令和2年度第1回補正予算(案)について
・諸規則の改正について
・令和2年度主要事業の進捗状況について
報告事項 ・県西部圏域における新規事業展開について

オ 令和2年度 第5回理事会
開催日 令和3年2月19日
開催場所 大分県総合社会福祉会館
審議事項 ・令和2年度主要事業の進捗状況について
・業績一時金の支給について
報告事項 ・県西部圏域における新規事業展開について

カ 令和2年度 第6回理事会
開催日 令和3年3月17日
開催場所 大分県総合社会福祉会館
審議事項 ・業務執行理事の呼称について
・施設長等の任免について
・諸規則の改正について
・令和2年度第2回補正予算(案)について
・令和3年度事業計画及び当初予算(案)について
・令和2年度第2回評議員会の日程及び附議する議案について
報告事項 ・県西部圏域における新規事業展開について

(2) 監事の監査

開催日 令和2年6月3日
場所 大分県総合社会福祉会館
内容 令和元年4月1日から令和2年3月31日までの事業年度における理事の業務執行の状況及び財産の状況について

(3) 評議員会の開催

ア 令和2年度 定時評議員会
開催日 令和2年6月26日
開催場所 大分県総合社会福祉会館
審議事項 ・定款の変更について
報告事項 ・監査報告について
・令和元年度事業報告及び計算書類(貸借対照表及び収支計算書)等について
・九重町グループホームの開所について

イ 令和2年度 第2回評議員会
開催日 令和3年3月26日
開催場所 アートホテル
報告事項 ・業務執行理事の呼称について
・令和3年度事業計画及び当初予算について
・県西部圏域における新規事業展開について

(4) 監事との意見交換会の開催

開催日 令和 2年10月23日

開催場所 アートホテル大分

(5) 経営推進会議

ア 第35回(令和 2年 4月)経営推進会議

開催日 令和 2年 4月17日

開催場所 大分県総合社会福祉会館

審議事項 ・令和2年度主要事業の進捗状況について
・新型コロナウイルスの対策及び影響額について

イ 第36回(令和 2年 5月)経営推進会議

開催日 令和 2年 5月22日

開催場所 大分県総合社会福祉会館

審議事項 ・令和2年度主要事業の進捗状況について

ウ 第37回(令和 2年 6月)経営推進会議

開催日 令和 2年 6月19日

開催場所 大分県総合社会福祉会館

審議事項 ・令和2年度主要事業の進捗状況について
・第24回大分県社会福祉事業団新型コロナウイルス
対策検討会議

エ 第38回(令和 2年 7月)経営推進会議

開催日 令和 2年 7月17日

開催場所 大分県総合社会福祉会館

審議事項 ・令和2年度主要事業の進捗状況について
・県西部圏域新規事業展開の進捗について
・第26回大分県社会福祉事業団新型コロナウイルス
対策検討会議

オ 第39回(令和 2年 8月)経営推進会議

開催日 令和 2年 8月21日

開催場所 大分県総合社会福祉会館

審議事項 ・令和2年度主要事業の進捗状況について
・第30回大分県社会福祉事業団新型コロナウイルス
対策検討会議

(新型感染症発生時における業務継続計画(案))

カ 第40回（令和 2年 9月）経営推進会議

開催日 令和 2年 9月18日

開催場所 大分県総合社会福祉会館

- 審議事項
- ・令和2年度主要事業の進捗状況について
 - ・事業実践検討会(前期)結果について
 - ・第32回大分県社会福祉事業団新型コロナウイルス対策検討会議

キ 第41回（令和 2年10月）経営推進会議

開催日 令和 2年10月16日

開催場所 大分県総合社会福祉会館

- 審議事項
- ・令和2年度主要事業の進捗状況について
 - ・令和3年度事業計画及び当初予算編成方針について
 - ・第34回大分県社会福祉事業団新型コロナウイルス対策検討会議

ク 第42回（令和 2年11月）経営推進会議

開催日 令和 2年11月20日

開催場所 大分県総合社会福祉会館

- 審議事項
- ・令和2年度主要事業の進捗状況について
 - ・第36回大分県社会福祉事業団新型コロナウイルス対策検討会議

ケ 第43回（令和 2年12月）経営推進会議

開催日 令和 2年12月18日

開催場所 大分県総合社会福祉会館

- 審議事項
- ・令和2年度主要事業の進捗状況について
 - ・第38回大分県社会福祉事業団新型コロナウイルス対策検討会議

コ 第44回（令和 3年 1月）経営推進会議

開催日 令和 3年 1月22日

開催場所 大分県総合社会福祉会館

- 審議事項
- ・令和2年度主要事業の進捗状況について
 - ・第40回大分県社会福祉事業団新型コロナウイルス対策検討会議
 - ・令和2年度事業実践検討会（後期）実施結果報告書（VoL.6）
 - ・ICT導入検討プロジェクトの報告について

サ 第45回（令和 3年 2月）経営推進会議

開催日 令和 3年 2月19日

開催場所 大分県総合社会福祉会館

- 審議事項
- ・令和2年度主要事業の進捗状況について
 - ・第42回大分県社会福祉事業団新型コロナウイルス対策検討会議
 - ・第5回理事会について

シ 第46回（令和 3年 3月）経営推進会議

開催日 令和 3年 3月22日

開催場所 大分県総合社会福祉会館

- 審議事項
- ・令和2年度主要事業の進捗状況について
 - ・第44回新型コロナウイルス対策検討会議
 - ・第2回評議員会

2 事務局業務の状況

設置経営している施設及び事業所等の適正な運営、業務の合理化・効率化及びご利用者サービスの質の向上等に努めた。

(1) 会議等の開催

事業団の自立かつ自主的な事業運営を円滑に推進するため、所属長会議等を定期的に開催した。

また、事業計画の実施状況等を確認、その内容を精査し、業務遂行上の課題を抽出、検証等を行うことで、ご利用者サービスの向上・安全確保、在宅福祉サービスの強化につなげるため、所属長経営面談座会及び各所属ごとに本部事務局と事業実践検討会を実施した。

その他、全国社会福祉事業団協議会等が開催する各種会議等への参加を予定していたが、コロナ禍の中で、書面による開催や延期、もしくは中止となった。

ア 所属長会議等の開催状況

会議名	開催年月日	会議名	開催年月日
所属長会議	令和2年 4月 3日	経営の強靱化を 検討する会議	令和2年 6月12日
	令和2年 5月 8日		令和2年 6月19日
	令和2年 5月29日		令和2年10月22日
	令和2年 6月26日		令和2年10月26日
	令和2年 7月31日		令和3年 2月10日
	令和2年 8月28日		令和3年 2月25日
	令和2年 9月30日	宇佐地区合同 連絡会	令和2年 5月13日
	令和2年10月23日		令和2年 6月22日
	令和2年11月27日		令和2年 9月28日
	令和2年12月25日		令和2年12月24日
	令和3年 1月29日	管理課長・支援課 長会議	令和3年 3月23日
	令和3年 2月15日		令和3年 3月 5日
	令和3年 2月26日		
	令和3年 3月26日	管理課長会議	(中止)

ア 所属長会議等の開催状況

管理栄養士会議	令和2年11月30日	看護・リハビリ 担当職員会議	令和3年2月10日
親なきあと相談 支援者連携会議	(延期)		調理員会議

イ 所属長経営面談座会の開催状況

施設名	実施日	施設名	実施日
地域総合支援 センター	令和2年5月19日	糸口通勤寮	令和2年5月21日
	令和2年7月14日		令和2年7月16日
	令和2年9月16日		令和2年9月14日
	令和3年1月13日		令和3年2月3日
溪泉寮	令和2年6月23日	なおみ園	令和2年6月16日
	令和2年8月19日		令和2年9月14日
	令和2年10月14日		令和2年10月13日
	令和3年2月9日		令和3年1月25日
のぞみ園	令和2年6月17日	日田はぎの園	令和2年5月20日
	令和2年8月19日		令和2年7月15日
	令和2年10月13日		令和2年9月16日
	令和3年2月16日		令和3年1月13日
糸口学園	令和2年5月19日	地域生活支援 センターはぎの	令和2年6月16日
	令和2年7月14日		令和2年8月17日
	令和2年9月15日		令和2年10月12日
	令和3年1月14日		令和3年2月2日
糸口厚生園	令和2年5月20日	八つ星の丘	令和2年6月23日
	令和2年7月15日		令和2年8月20日
	令和2年9月15日		令和2年10月15日
	令和3年1月18日		令和3年2月5日
糸口第二厚生園	令和2年6月17日		
	令和2年8月19日		
	令和2年10月14日		
	令和3年1月26日		

ウ 事業実践検討会の実施状況

施設名	実施日	施設名	実施日
地域総合支援センター	令和2年6月29日 令和2年11月26日	糸口通勤寮	令和2年7月20日 令和2年12月15日
溪泉寮	令和2年8月4日 令和2年12月4日	なおみ園	令和2年7月28日 令和2年12月23日
のぞみ園	令和2年7月29日 令和3年1月6日	日田はぎの園	令和2年8月6日 令和3年1月8日
糸口学園	令和2年8月25日 令和2年12月2日	地域生活支援センターはぎの	令和2年7月21日 令和3年1月5日
糸口厚生園	令和2年8月27日 令和2年12月21日	八つ星の丘	令和2年8月7日 令和2年12月22日
糸口第二厚生園	令和2年8月5日 令和2年12月8日		

エ 全国社会福祉事業団協議会主催の会議等の状況

会議種別	予定場所	対応
九州ブロック会議及び職員研修会	福岡市	書面による実施
全国社会福祉事業団大会	大阪市	延期
九州ブロック職員研修会	那覇市	中止

(2) 表彰の状況

ア 永年勤続表彰

職員として、在職期間が20年以上で勤務成績が良好な者に対し表彰状を授与した。

○理事長表彰状

大分県糸口学園	支援第二課長	飯野 恵
大分県日田はぎの園	主幹兼支援係長	脇口 和俊
八つ星の丘	主任調理員	大木 美智子

イ 功労者表彰

退職者及び寄付者に対して、理事長及び施設長が感謝状を贈呈した。

○理事長感謝状（令和2年8月31日退職）

大分県なおみ園 園長 佐藤 明彦

○所属長感謝状（令和2年9月26日退職）

大分県糸口学園 主査 小深田 誠

○理事長感謝状（令和 2年10月 6日寄付者）
大分県社会福祉事業団 八つ星の丘保護者 早 田 和 幸 氏

○理事長感謝状（令和 2年12月11日退職）
大分県糸口厚生園 副園長兼管理課長 相 本 雄一郎

○理事長感謝状（令和 3年 3月31日退職）
本部事務局 常務理事兼事務局長 穴 井 貴 雄
大分県なおみ園 理事兼なおみ園長 加 藤 るり子
大分県糸口第二厚生園 園 長 日 野 誠 二
大分県糸口学園 主幹兼支援係長 藤 田 聖
大分県糸口厚生園 主任（看護師） 野 村 美喜子

○所属長感謝状（令和 3年 3月31日退職者）
地域生活支援センターはぎの 主幹兼地域係長 矢 野 有 希
地域総合支援センター 主 査 山 下 聡 子
地域生活支援センターはぎの 主任支援員 森 山 さゆり
地域総合支援センター 支 援 員 角 博 明

ウ 全国社会福祉事業団協議会長表彰

事業団職員として20年勤続した3名及び実務研修論文入選者に対し、全国社会福祉事業団協議会理事長から表彰された。

○永年勤続表彰
大分県糸口学園 支援第二課長 飯 野 恵
大分県日田はぎの園 主幹兼支援係長 脇 口 和 俊
八つ星の丘 主任調理員 大 木 美智子

○実務研究論文入選
大分県糸口第二厚生園 管理栄養士 膳 所 愛 実
大分県なおみ園 支 援 員 轟 英 樹

3 事業の実施状況

(1) 法人経営における現状と課題

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症（以下「コロナ」という。）による緊急事態宣言で始まる異例の年度となった。それまでの生活スタイルや人と人との関わりの中で生み出されるコミュニケーションのあり方も大きく変化し、数々の制約と新たな生活様式による日常を余儀なくされた。

そのような中、当法人では、有する福祉サービスの拠点において、求められるニーズに最大限応えるべく事業の運営を行った。コロナ禍にあっても、ご利用者にとっての安全で安心かつ快適な生活と自己実現を目指すことができるよう、全職員一丸となってさまざまな工夫のもとに支援を行った。感染症対策についても、基本的な感染対策の徹底のほか、マニュアルの見直しやシミュレーションの実施等による感染防止体制の整備を積極的に行った。法人内において感染者が出なかったことは、大きな成果とも言える。

法人の経営基盤の強化としては、所属長経営面談座会や各種会議・研修等を通して、より安定した組織体制の確立につなげるとともに、組織運営及び経営意識の高揚を図った。また、会計監査人による往査や内部監査を通して、より明確で効率的な事務処理の徹底と業務の最適化を図った。

地域福祉については、社会資源として求められているニーズにできる限り応えることができるよう努めた。地域生活支援拠点の受託への準備や共生型サービスの充実等、地域共生社会の実現に向けて取り組むことができた。

さらに、人材確保に向けた広報活動として、コロナ禍にあっても有効な方法を駆使しながら福祉の理解促進を図った。併せて、魅力発信と同じコンセプトである「笑顔と思いやり」をもって職員が支援できる職場環境づくりを目指し、職員教育と雇用環境のより一層の充実につなげた。急速に進化しているICT（情報通信技術）についても一部導入をし、効果的かつ効率的な職場環境を整えることができた。

このように、法人を挙げて取り組んできた一方で、ご利用者預かり金管理及び労務管理の不備並びに職場環境を悪化させる行為といった事案がみられた。これを受け、原因と再発防止に向けた対応策を法人全体で共有し、コンプライアンスの遵守について徹底を図った。この事案を真摯に受け止め、今後もご利用者やご家族に安心してご利用いただけるよう、適切な管理及び運営に取り組んでいく。

(2) 重点方針への取り組み

ア ご利用者主体の良質なサービスの提供

求められるニーズに最大限応えることで、ご利用者やご家族の望む暮らしができるよう、専門的で質の高いサービスの提供に努めた。

施設で生活するご利用者については、安全で安心かつ快適な生活を目指すことができるよう、さまざまな工夫のもとに支援を行った。コロナ禍の中、特にご利用者のス

トレスには留意をし、制約のある中でも楽しめるよう園内行事を充実させる等することで、ご利用者の笑顔につなげた。また、作業療法士、言語聴覚士、看護職員、管理栄養士及び支援員等による多職種協働でのリハビリテーションについて、委員会での検討や分析を重ねながら転倒や誤嚥事故の防止に向けて取り組み、心身機能の維持・向上を図った。

地域で暮らすご利用者については、ライフステージに応じた支援を行い、自立した生活を送り続けることができるよう努めた。地域生活を支えるため、コロナ感染防止対策を徹底し、必要とされるサービスの提供を継続して行った。

感染症対策については、基本的な感染対策の徹底に加え、マニュアルの見直しやシミュレーションの実施等による感染防止体制の整備を積極的に行った。また、緊急事態宣言時には職員に特別休暇を付与する等、職員がウイルスを所属内に持ち込まないための方策を講じ感染防止に努めた。ご利用者、職員ともに法人内においてコロナ感染者が出なかったことは、大きな成果とも言える。

さらに、障がいが多様化している現状をふまえ、研修や会議を通して障がい特性に応じた支援スキルの向上を目指すとともに、人権擁護と虐待根絶のさらなる徹底を図った。併せて、職員間でのコミュニケーションを活発化させ、ご利用者主体のサービス提供の強化を図った。

イ 社会福祉法人として信頼される組織運営と経営基盤の強化

法人の経営基盤のさらなる強化を目指し、毎月の経営推進会議において主要事業の進捗状況等の確認をするとともに、日々変化するコロナの感染拡大状況にかかる情報の共有や対応についての検討を重ねた。また、所属長経営面談座会や経営の強靱化を検討する会議、宇佐地区合同連絡会を定期的で開催し、有する課題に対し法人本部と所属が一体となり検証することで、より安定した組織体制の確立につなげた。さらに、会計監査人による往査や法人内部での監査を通し、より明確で効率的な事務処理の徹底と業務の最適化を図った。

収支については、コロナの影響による飲食産業の冷え込みやサービスの利用控えがみられ、当初予算達成について危惧された。しかし、代替する取組の考案や柔軟な対応、そして外泊や帰省の自粛に伴う利用日数の増加により、法人全体の当初予算は大幅に達成をすることができた。

防災対策としては、各所属において実態に即した防災・防犯訓練を行い、防災意識の向上を図った。実際に豪雨による避難が必要となった際にも、避難場所の変更を余儀なくされたにもかかわらずスムーズな避難ができ、ご利用者の安全につなげることができた。

ほかにも、さらに質の高いサービスの提供を目指すために必要な客観的評価を取り入れる観点から、八つ星の丘デイサービスセンター和々において福祉サービス第三者評価の受審を行い、高い評価を得た。

ウ 各圏域における福祉の推進

コロナ禍により地域との関わりが制限される中、各所属の特色を活かし、できる限り地域のニーズに応えることができるように取り組んだ。各圏域において、障がい児者の生活を地域で支える地域生活支援拠点のニーズを法人が受けるべく、地域との連携を図りながら次年度の受託に向けて準備を行った。また、八つ星の丘の通所介護では定員近くまでご利用いただける日も増え、共生社会の実現に寄与することができた。

「障がい者雇用率向上対策室」では、雇用アドバイザーと就労定着アドバイザーが「障害者就業・生活支援センター」の職員とともに一体となって障がい者雇用の推進を図った。残念ながら大分県の障がい者雇用率は全国順位を下げたが、雇用数の目標値は大幅に達成することができ、求められる役割を果たすことができた。

エ 人材確保及び育成と働きがいのある職場づくり

前年度に引き続き広報担当理事を中心に広報活動の充実に努めた。法人ホームページのリニューアルにより、各所属における活動等のタイムリーな掲載が可能となり、法人の魅力発信とともに法人への理解促進を図った。今年度はコロナ禍により大学等への訪問ができなかったが、学校側との連携を図るとともにオンラインによる法人説明会を実施し、職員採用試験における多数の受験申込みにつながった。合格後の辞退があったため職員採用試験を2回実施したが、結果として一般職を含め26名の職員を採用することができた。

また、「笑顔と思いやり」をもって支援できる人材の育成を目指し、各種研修や委員会を通して人権意識の向上を図るとともに、日々のOJTや面談等を通して働きがいや責任感の醸成及びメンタル面の把握を行った。さらに、年次有給休暇取得の促進や時間外労働削減等、より一層の雇用環境の向上に努めた。

一方で、ご利用者預かり金管理及び労務管理の不備並びに職場環境を悪化させる行為といった事案がみられた。事案の経過を確認した上で原因を探り、再発防止に向けた対応策とコンプライアンスの遵守について法人全体で周知徹底を図った。

コロナ禍において急速に進化しているICT（情報通信技術）については、プロジェクトにて継続して協議検討を行い、勤怠管理システムや介護ロボット等を一部の所属で導入した。業務の効率化が図られただけでなく、ご利用者の安心と安全につなげることができ、相乗効果を生み出すことができた。

4 職員の健康管理及び福利厚生

一般定期健康診断及び30歳以上の職員に対する生活習慣病予防健診等、全職員の健康診断を実施した。また、夜勤従事者に対し、年2回の健康診断を実施した。

予定していた職員互助会活動によるレクリエーションは、コロナの影響を受け中止となった。そのため、事業団オリジナルの商品を扱った職員互助会福利厚生カタログにて会員に還元し、会員からの好評を得た。

5 各所属の運営方針に基づく事業の成果と課題

ア 地域総合支援センター

地域生活を継続するための包括的サービスを提供する事業所としての強みを活かし、子どもから高齢者までのご利用児・者が安心して日常生活を送ることができるサービス提供を心がけた。

新型コロナウイルス感染拡大により、児童通所事業と居宅介護等の在宅支援において利用控えが目立ったが、サービスを必要とするご利用者ニーズに応えるため、感染防止対策を徹底しながら開所を継続した。豊後高田市では、未就学児の受入れニーズに対応すべく、どんぐり河内において児童発達支援を開始し、支援機能を強化した。

就労支援事業では、コロナ禍でも通所するご利用者の就労意欲に応えるべく安定作業を維持したことで、利用率は安定していた。就労支援事業収入では、カフェレストランの来客数減による影響はあったが、積極的な営業活動等により、前年度からの減少幅を抑えることができた。

質の高い福祉人材の育成については、サービス向上のスピーチや虐待防止委員会（毎月開催）での定期的な支援内容の検証等により、人権意識の向上が図られた。

イ 大分県溪泉寮

利用者一人ひとりの思いを実現するため、個々の特性や日常生活状況等に考慮した個別支援計画を軸に、多職種協働で安全で安心かつ健康な生活が送れるよう、自立支援に向け取り組んだ。コロナの関係で行事等の縮小を余儀なくされたが、外出行事については県外を県内に変更し実施した。

また、循環型施設としての機能を発揮し、ご利用者のニーズに沿い地域移行に12名、施設移行に3名つなげ思いを実現させることができた。

地域の生活困窮者に対しては、各関係機関との連携を図り、安心して過ごせる居住の場や就労の場を提供することで自立に向けた支援を行い、自立につなげることができた。また、日常生活支援住居施設を令和2年10月から開始し、単独での住居が困難な生活保護受給者に対し、一定の支援体制を整え支援を行った。

ウ 大分県のぞみ園

組織力強化を目的に、ノーリフトケア推進事業委員会、リハビリテーション強化委員会、人材育成強化委員会、組織力向上プロジェクトを設置し、さらなるご利用者支援の向上に努めた。リフトや生体センサーの導入により、「抱えない支援」の必要性の周知及び支援技術の向上に努め、健康状態の「見える化」により、ご利用者の安全・安心と職員の心身の負担軽減につながった。また、リハビリテーションの強化のため、多職種協働による生活リハビリの推進に努め、残存機能、嚥下機能の維持、強化に取り組んだ。

地域支援では、ふれあいサロンのぞみの機能を活かし、地域生活支援拠点等の整備に向け関係機関との連携を強化した。

さらに、人材育成プログラムを作成し、個々に応じたOJTを実施することで、高い人権意識をもった質の高い職員の育成を推進した。

エ 大分県糸口学園

新型コロナウイルス等の感染症対策を徹底した安全で安心な生活環境の中、ご利用児が楽しめる工夫した日課や様々な代替行事を実施し、笑顔あふれるサービスの提供に取り組んだ。

支援第一課では、誤嚥、転倒等の事故防止対策の徹底を行い、各種専門職と連携をとりながら支援を行った。強度行動障がいをもつご利用者支援については、専門的支援技術のより一層の向上が必要であり、障がい特性に対応できる住環境の整備という課題が残った。

支援第二課では、発達障がい児や重度障がい児に対し、視覚的支援を中心とした環境の整備と支援プログラムを提供した。また、児童の自立に向けた「愛着」と「自己肯定感」の育成のための専門的支援に取り組んだ。

人材育成については、コロナ禍の中で県外の先進地視察はできなかったが、外部講師の派遣による専門研修を受け、人権意識の向上と専門的支援技術の獲得を図った。

オ 大分県糸口厚生園

園内に活気があり、安全で居心地のよい生活の実現に努めた。ご利用者の意向を尊重し、例年のように外出や帰省ができないご利用者の楽しみの選択肢を増やした。また、多職種協働でのリハビリテーションと口腔ケアの定着を図り、心身機能の維持及び向上につなげた。

共同生活援助では、希望される暮らし方への転換も支援しつつ、関係者と連携を取りながら、安定した生活が継続できるよう支援体制を強化した。

地域福祉においては、配食サービスを継続するとともに、地域生活支援拠点整備事業の実施に向けた体制づくりができた。

働きやすい職場づくりとして、ワークライフバランスの推進と職員のモチベーションの向上を図った。一方で、ご利用者預かり金管理にかかる不備がみられたため、原因の究明と再発防止への取り組みを徹底し、金銭管理の体制を強化した。

カ 大分県糸口第二厚生園

ご利用者一人ひとりの思いや希望に耳を傾け、今できる最大限の取組みを行った結果、ご利用者がストレスを感じることなく、笑顔がみられる生活の提供ができた。また、多職種協働による専門・生活リハビリを継続して行い、身体機能低下防止や転倒事故防止に努めた。感染症予防対策にも徹底して取り組み、感染症の発生はなかった。

さらに、ICT（情報通信技術）の積極的な推進を行うことで、業務の効率化が図られ、ご利用者に寄り添う時間をこれまでよりも長く持つことができるようになった。併せて、職員の働き方が視覚化ができたことで、働き方への助言・指導が容易となり、

より一層働きやすい職場づくりが可能となった。

在宅障がい者の対応については、感染症状況を見極めながら、可能な限り受け入れを実施し、地域における社会資源としての役割を果たせるよう努めた。

キ 大分県糸口通勤寮

ご利用者個々が望む地域生活の実現に向け、丁寧なアセスメントに努めた。生活リズムの構築や生活上で生じる課題を乗り越える力、就労意欲を継続するために必要な達成感、生活に潤いを与える余暇の過ごし方などの会得について、事業所独自の訓練プログラムを用いて支援した結果、11名の方が共同生活援助を含めた地域での生活に移行することができた。地域での生活を始めた後も、自立生活援助事業や就労定着支援事業を活用し、生活の困りごとや就労面の課題に対し、ご利用者が地域の中で健康かつ安心した生活を送り続けることができるようにご利用者に寄り添った。

職員育成においては、専門的知識の習得と権利擁護の認識についての再確認を行い、ご利用者主体のサービス提供のさらなる強化を目指した。また、日常的に業務のスリム化や効率化を図り、「笑顔で働きたい」と思える職場づくりに努めた。

ク 大分県なおみ園

新しい生活様式を模索しながら、ご利用者への安全で安心のサービス提供を心がけたが、誤薬事故及び骨折事故が発生した。そのような中、職員が一丸となり、業務改善や仕事に対する意識改革を積極的に取り組んだ結果、年度後半には、若いご利用者を中心とした個別支援の充実、楽しみのある行事を職員全員で考え、創意工夫し、生活満足度の向上に邁進することができた。

地域サービスにおいては、地域に暮らすご利用者のニーズに応じたサービスを提供することで安心と信頼が得られるよう努め、地域との連携の強化に努めた。

また、人材育成においては、人権意識の高い職員の育成を図り、意思決定支援に基づく個別支援の充実に取り組んだ。ご利用者個々の特性に応じた支援方法の統一を図り、職員同士のコミュニケーションを図りながら、ご利用者の安全と安心を確保しつつ、ご利用者一人ひとりの思いに寄り添い専門職の視点に立ったサービス提供に努めることができた。

ケ 大分県日田はぎの園

ご利用者の望む生活が送れるよう、意思決定を尊重しニーズに寄り添った活動を支援したことで、ご利用者の笑顔が多く見られた。また、加齢による機能低下を防止するため、多職種協働でリハビリに積極的に取り組んだことにより、転倒事故による入院者はなかった。さらに、必要に応じて感染症予防マニュアルを都度更新、周知し、全職員一丸となって感染症対策に取り組んだ。

共同生活援助においては、単身生活への移行を目的とした方から、生活の安心を求める方まで、個々のニーズに応じたきめ細やかなサービスを展開した。在宅サービス

については、コロナ禍においても地域のニーズに対応することで、社会資源としての役割を果たした。

多様化する障がい特性に対応できるよう、体系的に研修を実施したことで、職員が自信を持ってサービスを提供でき、モチベーションの向上につながった。

コ 地域生活支援センターはぎの

各種福祉サービスの特色を活かし、地域で暮らす障がいのある方のニーズ等の把握に努め、見通しのある支援を行った。コロナ禍にあっても求められるニーズに応えることで、ご本人とご家族の笑顔や安心感につなげ満足度の向上を図った。

また、九重町で初の共同生活援助事業『このえ夢ホーム』の運営開始では、圏域の特性や実情に沿った検討を行い、住まいの場の提供だけでなく、日中活動の場と一体化した支援体制の整備を行った。

専門性の高い福祉人材の育成として、職場内研修等を主に実施した。また、職場内の雰囲気づくりを大切にし、職員同士で感謝を伝え合うことで、明るく風通しの良い職場づくりに努めた。

サ 八つ星の丘

ご利用者一人ひとりの笑顔や楽しみを引き出すとともに、自分らしい生活を維持するために重要な身体機能維持のためリハビリの強化を図った。また、口腔ケアを徹底することで入院日数の減少につながった。介護技術や高齢者福祉に対する意識をより高め、ご利用者のこれまで歩んできた人生や意向に寄り添う支援を重視した。

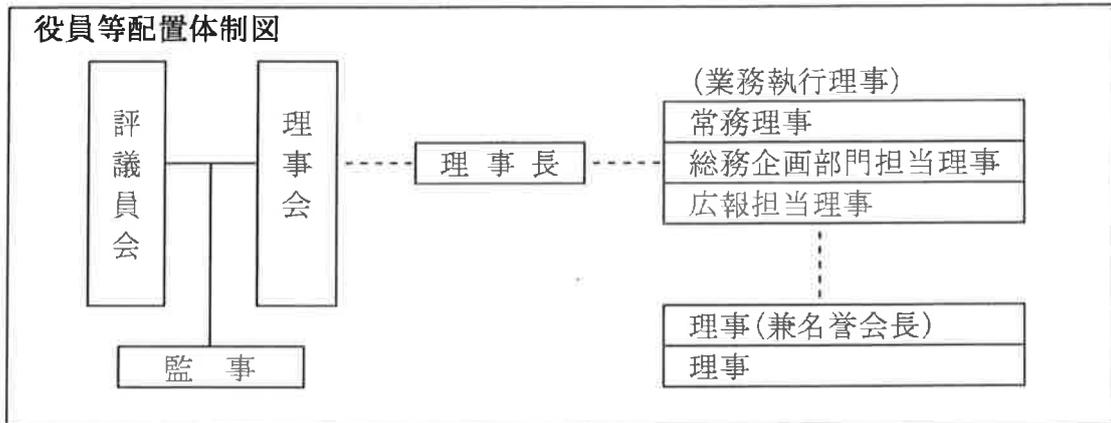
共生型の通所事業では、各福祉サービスの枠組みを超えた幅広い方々に利用していただくことでお互いを理解し、思いやりをもって過ごすことを目指した。看護師専従の特色を活かして医療的ケア児・者を受け入れ、地域ニーズに対応した。

さらに、高齢化に伴う転倒、事故等を予測できる観察力、洞察力を養い情報共有を徹底することで職員間のコミュニケーションを活発に行い、働きやすい職場づくりに努めた。

資料1

役員等の状況 (人)

役員等	理事	監事	評議員
定数	6	2	7
現員	6	2	7



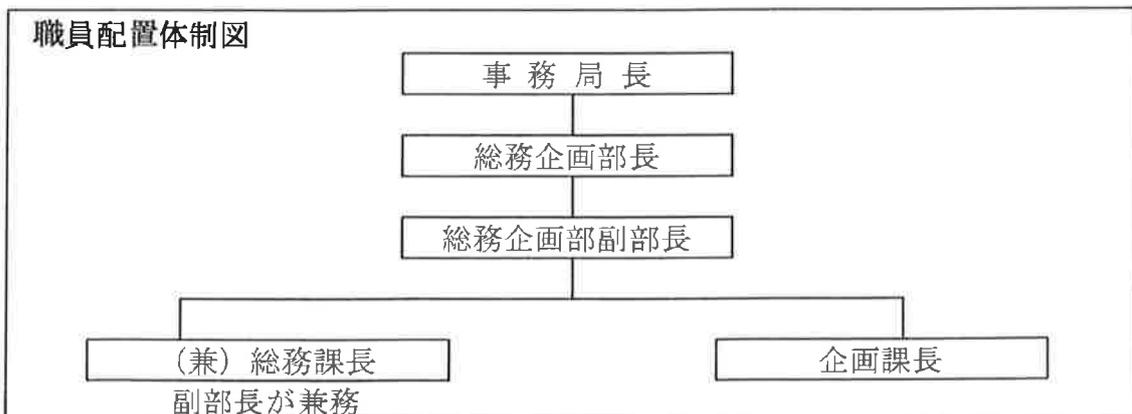
5 職員の配置状況

(1) 事務局 (法人本部)

職名	常務理事兼事務局長	理事兼総務企画部長	総務企画副部長兼総務課長	企画課長	主幹兼総務係長	主幹兼企画係長	主任書記	書記	計
現員	1	1	1	1	1	1	1	3	10

(2) 派遣職員 (人)

派遣先	大分県障がい者体育協会	計
現員	1	1



資料2

令和2年度 苦情相談の解決状況

(単位：件)

		苦情相談の内容					小計	その他	合計		
		ケアの内容に関する こと	個人・家族・交友 に関する こと	設備に関 すること	生活の不 便に関す ること	行事に関 すること					
相 談	地 域		42				42		42		
	溪泉寮	12	36		1		49		49		
	のぞみ	9	9	3	9		30		30		
	学 園		15			1	16	24	40		
	厚生園	9	60	8	10		87	5	92		
	二 厚		103			28	131		131		
	通勤寮		23				23		23		
	なおみ	2	3	3		1	9		9		
	はぎの園		153			19	172		172		
	センターはぎの										
	八つ星の丘	6	34	1	1	1	43		43		
合 計		38	478	15	21	50	602	29	631		
結 果	解 決	事業者	地 域		5				5		5
			溪泉寮	7	26		1		34		34
			のぞみ	9	9	3	9		30		30
			学 園		4			1	5	9	14
			厚生園	3	31	3	4		41	2	43
			二 厚		16			15	31		31
			通勤寮		23				23		23
			なおみ	2	3	3		1	9		9
			はぎの園		92			6	98		98
			センターはぎの								
	八つ星の丘	6	33	1	1	1	42		42		
	小計	27	242	10	15	24	318	11	329		
	未 決	第三者 委 員	地 域		37				37		37
			溪泉寮	5	10				15		15
			のぞみ								
			学 園		11				11	15	26
			厚生園	6	29	5	6		46	3	49
			二 厚		87			13	100		100
			通勤寮								
			なおみ								
はぎの園				61			13	74		74	
センターはぎの											
八つ星の丘		1				1		1			
小計	11	236	5	6	26	284	18	302			
計	38	478	15	21	50	602	29	631			
合 計		38	478	15	21	50	602	29	631		

※「センターはぎの」は日田はぎの園と合同で開催

資料3

令和2年度各種委員会・研修の状況

ア 各種委員会

会議名	開催年月日	会議名	開催年月日
リハビリテーション委員会	令和2年5月28日 令和2年8月3日 令和2年10月2日 令和2年11月17日 令和3年2月1日	広報委員会	令和2年5月22日 令和2年6月2日 令和2年7月3日 令和2年10月6日 令和2年11月6日 令和2年12月3日 令和3年1月7日 令和3年2月15日 令和3年3月8日
サービス向上委員会	令和2年5月15日 令和2年6月24日 令和2年8月26日 令和2年10月20日 令和2年12月3日 令和3年2月4日		
経営改革推進委員会	令和2年6月10日 令和2年10月16日 令和3年3月9日		

イ プロジェクト

会議名	開催年月日	会議名	開催年月日
ICT導入検討プロジェクト (1班)	令和2年5月18日 令和2年7月30日 令和2年10月8日 令和2年11月6日	ICT導入検討プロジェクト (2班)	令和2年8月17日 令和2年10月27日 令和2年11月12日 令和2年12月16日

ウ 実践事例研修会

種 類	受講 人員	研 修 内 容	発 表 者	実施月日
実践事例 研修会	4 2	あいさつ	理事長	令 3 . 2 . 22
		委員会活動報告① 「リハビリテーション委員会」	地域生活支援センターはぎの 主幹兼地域係長 日田はぎの園 主幹兼支援係長	
		委員会活動報告② 「サービス向上委員会」	地域総合支援センター 支援係長 糸口学園 支援員	
		委員会活動報告③ 「広報委員会」	湊泉寮 主幹兼支援係長 なおみ園 支援員	
		実践報告① 令和元年度実務研究論文 [佳作] 「低栄養状態にあるご利用者の多 職種協働による支援について」	糸口第二厚生園 管理栄養士	
		実践報告② 令和元年度実務研究論文 [佳作] 「障がい者の「働く」を支える支 援とは～障害者就業・生活支援セ ンターにおける個別支援計画の活 用を考える～」	なおみ園 支援員	
		活動報告① 「ICT導入検討プロジェクト (1 班勤怠管理システム・2 班介 護ロボット等)」	糸口第二厚生園 副園長兼管理課長 支援課長	
		活動報告② 「大分県湊泉寮の取組について」 (日常生活支援住居施設事業や職 員研修会など)	湊泉寮 支援課長 支援員 のぞみ園 支援員	
		活動報告③ 「宇佐地区合同連絡会について」	糸口学園 支援課長	
閉会あいさつ	理事兼総務企画部長			

エ 事業団主催研修

(ア) 所属長・副所属長・課長研修

種 類	受講人員	研 修 内 容	講 師	実施月日
トップマネジメント研修	21	<p>訓話</p> <p>講義 「組織運営とリーダーシップ」 ～ガバナンスの強化と透明性の向上～</p> <p>講義 「人材育成、動機付けとモチベーション管理」</p> <p>講義 「風通しの良い職場環境作りについて」～言語・非言語コミュニケーション～</p> <p>講義 「人生100年時代のメンタルヘルス」～ワークライフ・バランスがマネジメントの鍵～</p>	<p>理事長</p> <p>常務理事兼事務局長</p> <p>理事兼総務企画部長</p> <p>ことの葉 クローバー代表 松本 久美子 氏</p> <p>別府大学 教授 佐藤 敬子</p>	令2.10.7
ミドルマネジメント研修	18	<p>訓話</p> <p>講義 「ミドルマネージャーに求められる意識」</p> <p>講義 「組織の運営管理と職員育成について」</p> <p>講義 「職場におけるメンタルヘルス対策」</p> <p>事例演習 「多様化するご利用者支援の現状と関わり方について」 ～対処の在り方を考える～</p>	<p>理事長</p> <p>常務理事兼事務局長</p> <p>理事兼総務企画部長</p> <p>医療法人ストレスケア 深川内科クリニック 副院長 深川富美代</p> <p>医療法人ストレスケア 深川内科クリニック 副院長 深川富美代 理事兼総務企画部長 総務企画部副部長</p>	令2.9.9

(ア) 所属長・副所属長・課長研修

種 類	受講 人員	研 修 内 容	講 師	実施月日
<p>新任管理職・ 新任課長研修 (前期)</p>	<p>4</p>	<p>訓話</p> <p>講義 「組織への貢献と役割について」</p> <p>講義 「新任管理職及び新任課長に求めること」</p> <p>講義 「意図的・計画的なOJTの実施」</p> <p>演習 「研修のまとめ」 ～研修を振り返って、実行プランを作成～</p>	<p>理事長</p> <p>常務理事兼事務局長</p> <p>理事兼総務企画部長</p> <p>企画課長</p> <p>常務理事兼事務局長 理事兼総務企画部長 理事 兼本部付き所属長</p>	<p>令2.6.15</p>
<p>新任管理職・ 新任課長研修 (後期)</p>	<p>4</p>	<p>訓話</p> <p>講義 「幹部職員に求められること」</p> <p>講義「健全な事業運営を行う管理者、責任者になる」</p> <p>講義 「事業団第6期中長期計画とこれからの見通し」</p> <p>演習 「上半期を終えての総括とこれから」 ～前期作成の実行プランを振り返って～</p>	<p>理事長</p> <p>常務理事兼事務局長</p> <p>理事兼総務企画部長</p> <p>副部長兼総務課長</p> <p>常務理事兼事務局長 理事兼総務企画部長 企画課長</p>	<p>令2.10.19</p>

(イ) 一般研修

種 類	受 講 人 員	研 修 内 容	講 師	実施月日
新採用職員研修 (後期)	17	訓話 講義「我々の職場は理念実現の場 ～できていますかご利用者主体～ 講義「事業団各所属事業内容の理解 について」 講義「事業団職員の自覚について」 演習「半年間を振り返って」	理事長 理事兼総務企画部長 総務企画部副部長 常務理事兼事務局長 常務理事兼事務局長 理事兼総務企画部長 企画課書記	令2.11.4
新採用職員 就業前研修 (令和3年4月1日 正規採用予定者)	26	(本部研修) 訓話 講義「大分県社会福祉事業団の組織及び 職員としての心構えについて」 講義「定款及び諸規則等について」 講義「権利擁護及び虐待防止について」 講義「人事考課及び目標管理について」 ----- (所属研修)	理事長 常務理事兼事務局長 理事兼総務企画部長 企画課長 総務企画部副部長 ----- 各所属	令3.3.2 ----- 令3.3.3 ～3.4
一般職員研修	18	あいさつ・訓話 講義「組織中における役割について」 講義「私たちに求められていること」 講義「福祉サービスの概要について」 講義「事業団における各サービスの 収支状況等について」 講義「権利擁護と虐待防止」 演習・グループワーク 「入職後のふりかえり」	理事長 常務理事兼事務局長 理事兼総務企画部長 企画課長 総務企画部副部長 ----- 主幹兼総務係長 常務理事兼事務局長 理事兼総務企画部長 理事 兼本部付き所属長 企画課書記	令2.7.27

(イ) 一般研修

種 類	受 講 人 員	研 修 内 容	講 師	実 施 月 日
総括機能育成 研修	1 8	<p>あいさつ・訓話</p> <p>講義「総括職員としての役割について」</p> <p>講義「人材の育成について」</p> <p>講義「事業団が展開する事業について」～魅力ある法人運営の発信～</p> <p>講義「家族からみた施設」～もしも自分だったら～</p> <p>演習</p> <p>「施設運営の関する思いと考え」</p>	<p>理事長</p> <p>常務理事兼事務局長</p> <p>理事兼総務企画部長</p> <p>理事兼なおみ園長</p> <p>大分県のぞみ園</p> <p>苦情相談第三者委員</p> <p>松田 尚子 氏</p> <p>常務理事兼事務局長</p> <p>理事兼総務企画部長</p> <p>理事兼なおみ園長</p> <p>企画課長</p>	令 2. 9. 29
中堅職員研修	1 4	<p>あいさつ・訓話</p> <p>講義「中堅職員の役割について」</p> <p>講義「求められる職員像について」</p> <p>講義「福祉サービスの概要について」</p> <p>講義</p> <p>「事業団における各サービスの状況について」</p> <p>講義「権利擁護と虐待防止」</p> <p>グループワーク</p> <p>「チームワークについて」</p>	<p>理事長</p> <p>常務理事兼事務局長</p> <p>理事兼総務企画部長</p> <p>企画課長</p> <p>総務企画部副部長</p> <p>主幹兼総務係長</p> <p>常務理事兼事務局長</p> <p>理事兼総務企画部長</p> <p>企画課書記</p>	令 2. 10. 9
専門員 ・副専門員研修	1 3	<p>訓話</p> <p>演習</p> <p>「職場での私の役割と上半期の総括」</p> <p>意見交換会</p>	<p>理事長</p> <p>常務理事兼事務局長</p> <p>理事兼総務企画部長</p> <p>総務企画部副部長</p> <p>企画課長</p>	令 2. 11. 9

(ウ) 専門研修

種 類	受講 人員	研 修 内 容	講 師	実施月日
人事考課 被考課者研修	17	<p>あいさつ・訓話</p> <p>講義「人事考課・目標管理制度とは」</p> <p>講義「人事考課・目標管理の流れと自己評価の方法について」</p> <p>演習「自己評価をしてみよう」</p> <p>～目標管理シート・人事考課シートを使って～</p> <p>グループワーク</p> <p>「自己評価を振り返り、グループ内で意見交換を行い、グループ毎に発表する」</p>	<p>常務理事兼事務局長 理事兼総務企画部長 総務企画部副部長</p> <p>理事兼本部付き所属長 主幹兼総務係長</p>	令2.7.9
人事考課 考課者研修	11	<p>あいさつ・訓話</p> <p>講義「人事考課制度について」～これまでとこれからの期待～</p> <p>講義「留意点及び評価基準について」</p> <p>グループワーク</p> <p>「ロールプレイングで育成面接」</p> <p>「ロールプレイングの振り返り」</p> <p>～よりよい育成面接のあり方～</p>	<p>理事長 常務理事兼事務局長</p> <p>総務企画部副部長 常務理事兼事務局長 理事兼総務企画部長 企画課長</p>	令2.9.2
強度行動障害 支援者養成研修 (基礎研修)	41	<p>講義「強度行動障がいがある者の基本的理解」</p> <p>演習「基本的な情報収集と記録等の共有」</p> <p>講義「強度行動障がいに関する制度及び支援技術の基本的な知識」</p> <p>演習「行動障がいとコミュニケーション」</p> <p>演習「強度行動障がいの背景にある特性の理解」</p> <p>実践報告</p>	<p>指導者研修修了者 実践研修修了者</p> <p>日田はぎの園 副園長兼管理課長</p> <p>糸口学園 支援第二課長</p> <p>日田はぎの園 支援第二課長 兼地域課長</p> <p>のぞみ園 主幹兼看護係長</p> <p>のぞみ園 主任支援員</p>	<p>令2.6.8 ～6.9</p> <p>令2.11.24 ～11.25</p>

(ウ) 専門研修

種 類	受講 人員	研 修 内 容	講 師	実施月日
強度行動障害 支援者養成研修 (実践研修)	14	講義 強度行動障害と生活の組立て 「親からの提言」 演習 「危機対応と虐待防止」 演習 「環境調整による 強度行動障害者の支援」 演習 「障害特性の理解とアセスメント」 実践報告 「行動障害のある者へのチーム」 演習 「記録に基づく支援の評価」	舎川 正和 氏 垣添 元子 氏 指導者研修修了者 日田はぎの園 副園長兼管理課長 日田はぎの園 支援第二課長 兼地域課長	令2.10.28 ～ 10.29
親なきあと 相談員養成研修	27	講義 「親なきあと相談室開設の経緯について」 講義 「障がいのある子の『親なきあと』 ～「親あるあいだ」の準備～ 「親なきあと相談室について」『親 なきあと』の相談、質問事例」 講義「親なきあと問題について」 講義「年金制度について」 講義「親なきあとに関わる税について」 講義 「相続・遺言・成年後見制度について」 講義 「親なきあとのためのワークライフ概 要」～人生100年のシナリオ～ 「事例でわかる！相続対策の勘所」 「親なきあとのための金融資産形成」 ～親子の老後資金づくり～ 講義「日常生活自立支援事業の理解」 講義「介護保険制度についての理解」 講義「親なきあと相談室活動報告」	主幹兼総務係長 渡部 伸 氏 総務企画部副部長 主幹兼総務係長 堀 勇 氏 蔵前 達郎 氏 胤末 理恵子 氏 三木 誠治 氏 大分県あんしんサポ ートセンター 主事 県高齢者福祉課 課長補佐 地域総合支援センター 主任支援員 溪泉寮 主査 のぞみ園 主任支援員	令2.10.30 令2.11.13 令2.12.1 令2.12.8
ライフプラン 研修	9	あいさつ 講義「資産形成セミナー」	理事兼総務企画部長 株式会社 セューマンクリエイト 代表取締役 三木 誠治 氏	令3.2.24

(エ) 特別研修 (その他の派遣研修)

種 類	受講 人員	研 修 内 容	主催	場所	実施月日
相談支援従事者 初任者研修 2日間コース 7日間コース	2 2	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援の目的 ・相談支援の基本的視点 ・相談支援におけるケアマネジメントの手法とプロセス ・相談支援における家族支援と地域資源の活用への視点 ・障害者総合支援法等に関する理解 ・事業所における芸術文化活動支援のあり方 ・受付及び初期相談並びに契約 ・アセスメント及びニーズ把握 ・目標設定と計画作成 ・評価及び終結 ・実践研究 	大分県	大分市	令2. 7. 16 ～ 7. 17 令2. 8. 6 ～ 8. 7 令2. 9. 25 令2. 11. 5 ～ 11. 6
サービス管理 責任者研修 (基礎)	4	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス提供の基本的考え方 ・サービス提供のプロセス ・サービス等利用計画と個別支援計画の関係 ・サービス提供事業所の利用者主体のアセスメント ・サービス管理責任者等の役割 ・個別支援計画作成のポイントと作成手順/個別支援計画の作成 ・個別支援計画の実施状況の把握及び記録方法 	大分県	大分市	令2. 9. 1 ～ 9. 2 令2. 9. 10 ～ 9. 11 令2. 9. 9 ～ 9. 10 令2. 9. 30 ～ 10. 1 令2. 9. 15 ～ 9. 16 令2. 10. 15 ～ 10. 16 令2. 9. 29 ～ 9. 30 令2. 10. 21 ～ 10. 22
サービス管理 責任者研修 (更新)	4	<ul style="list-style-type: none"> ・障害福祉等の動向に関する講義 ・サービス提供の自己検証に関する演習 	大分県	大分市	令2. 12. 15 ～ 12. 16 令3. 1. 14 ～ 1. 15 令3. 1. 26 ～ 1. 27
会計実務講座 (中級) (通信課程)	1	<ul style="list-style-type: none"> ・会計処理 ・決算書の作成 ・税務 ・予算制度 ・内部統制 	全国社会福祉協議会	神奈川県	オンライン 開催
社会福祉士実習指導者講習会	1	<ul style="list-style-type: none"> ・実習指導概論 ・実習マネジメント論 ・実習プログラミング論 ・実習スーパービジョン論 	公益社団法人大分県社会福	大分市	令3. 1. 30 ～ 1. 31

(オ) 大分県社会福祉介護研修センター主催研修

種 類	参加 人員	研 修 内 容	実施月日
社会福祉施設 長研修会	1	・施設長として必要な知識を習得するとともに人材確保につながるような意識改革を図る。	R2.11.12
社会福祉施設 給食担当職員 職員研修 ・調理員コース ・栄養士コース	3	調理員コース ・おいしく楽しく食べるための調理～嚥下をよくする基礎知識～ 栄養士コース ・栄養ケアマネジメント・ケアプランを説明する上でのポイント ・グループワークを通じて栄養士としての役割を習得	R3.2.24
プロ意識醸成 研修	1	・プロ意識の醸成～仕事の意欲向上のために、福祉のプロとしてのあるべき姿と仕事のやりがいを改めて見つめなおす。	R2.12.9
アンガーマネ ジメント研修	1	・自身の怒りのタイプを把握し、感情のコントロールを行う。	R3.1.19
障がい児(者) 施設職員研修	2	・日常生活における意思決定とその支援	R3.2.16
社会福祉施設 等新任職員研 修会	7	福祉職場で働くプロとして必要な基礎知識や心得等を学ぶとともに、受講者自身が主体となり、新たな知識や体験を通して自らの将来像を描くキャリアパス研修を実施し、働く意欲の向上や利用者サービスの向上を図る。	R2.9.12 R2.9.20 R2.10.3 R2.10.18
新型コロナウイルス 対策講座	4	・新型コロナウイルス感染防止対策	R2.11.8